

いるかいけ

入鹿池

[愛知県・犬山市]

■1633年に入鹿池が建設されたのは、この地域がもともと水に乏しく、水を巡る争いが絶えなかつたため。

■堤体建設は何度も失敗したが、橋を架けてその橋の上に土を持った状態で橋を焼き落として築堤する「棚築工法」という当時の新技術で成功。

■入念な調査と施工管理技術も特筆に値。1891年の大地震の際には周囲のため池が決壊するなか、入鹿池のダメージは軽微で、高い耐震性能が証明。

Irukaike Reservoir

高い技術力と
綿密な調査で建設された
強靭なため池



入鹿池全景



現在の入鹿池（余水吐と放水を上流から望む）



古図による全景



1883年の入鹿池工事